津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木村
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）（代）3118番

# 柑橘栽培を百歩前進!!

村長　斎藤　亀齢

所得倍増!!とは池田内閣の一大スローガンであります。物の響に応ずるごとく工業は大躍進を続け諸生産はあがり、ここ数年間に世界の驚異とまで騒がるゝに至りました。

しかし我が農村の姿はどうか、農産物は横ばい。収入は不振という現状、これでは所得倍増どころか所得維持さえ六ヶ敷しいのではないかと心配される。

かかる理由で政府は特に農業振興に非常な関心をよせており多額の資金を投入して其の体質改善をはかっている。

即ち平地の普通化、原野の牧畜山地の果樹とそれゞゝ土地の状況によって他産業なみの増収をめざしている。そうだ。政府も貧乏百姓を振り捨ゝ何とかして一人前の生活をと希っているようです。

口を開けば耕地がせまい収入が少いと不満をぶちまけているが、津奈木には未墾の山地が至る所ちらばっている。ブルトーザーの力をかれば一反弐万円以下で開墾が出来る。更に果樹を植えれば空の方にいくらでも耕地が広がる。既墾地も山のてっぺんまでつづいている。兎に角耕地は広い。

又蜜柑は将来性はあるが資金がどうもという者、収入がおくれるという人がある。なるほど成木になるまで多額の経費がいる。

そこで政府は農業近代化資金の貸出しを初め、又栽培法によっては二年目から一本二貫目の結実を見せている農家も現在田浦におられる。

何事も成功のかげには相当強い努力が必要である。七桁農業の実現はいろゝゝ困難がともなってくる。

然し津奈木村農民の生きる道は柑橘栽培をおいては外にないようだ。

どうか此の点を理解されて益々柑橘栽培に格段の努力をお願いして止みません。

# 熊本県における果樹振興方向とその対策

なおこれが振興対策の主なものは次のとおりです

一、優良種苗の確保

計画推進の第一の基礎となるものは正確な品種系統の優良苗木を、需要に応じて供給することです。そこで常に本県に適した品種系統の研究と原種保存を必要とするので県営母樹園を設置するほか市町村に復成母樹園の設置をお願いし、長期生産計画に基く苗木の生産を図ります。

二、資金対策

集団果樹園の造成と協業化を助成し、果樹農業の画期的伸長を図るため農業近代化資金、農林漁業資金、果樹振興資金等の資金の計画的効率的な活用を推進します。

三、果樹農家子弟の養成と技術指導の徹底

果樹技術研修施設の拡充強化をはかって、計画遂行の担い手となる果樹農家の子弟の養成に努めると共に普及員の特技研修、指導所及び、皆命が助った。其の時にもお上から白銀の御褒美があった。

いつも病気が危篤だと知らせて来ると、どんな寒い時でも又どんな暑い日でも、雨の日風の日も少しもきらう事なく、又どんな道の悪い遠い所にも喜んで往診していられた。若し病人の中に貧乏な人があれば、着物をやったり食物を与えたりして、其の病を治療してやり時には、自分も困る様な事があっても少しも心にかけなかったという事である。それで物に響応ずる様に、其の治療を受ける者が多く南は薩摩をこえ又球磨に入り天草の海を渡って治療を加えていられた。

郡医になって郡官舎に居られる時お上に請願して申されるに「医者の道は事人の命にかゝわる重大な仕事である。医を講じ研究せねばなかゝ明にならず、又一心に勤めなければ達する事が出来ない。芦北の医風が振わないので道を講じて大いに之を振起する必要がある」とお上はその請願を許されたので、毎月郡内のお医者さん方の大会を郡官舎に開いて、道を講じて大会を郡官舎に開いて、道を講じて研究され其の名誉日々高くなった。

後熊本に出て細川公の侍医となり殿様に従って江戸にも九回も上られ、其の宿には玄門さんの診察を受け度いと門前市をなす程であったと、又木曾路を通られる時、毎日何百人の診断をされてねむる事が出来なかったとの事である。

鮫薫裳という方が「人を驚かす事は易いが、人を治する事は実に仁恵の大なるものである」として活人堂の書を贈られそれにちなんで其の室を活人堂とよんでいられた。

# 郷土めぐり

## 郷土のほこり　深水玄門先生（五）

千々岩　頼母

「深水玄門さんは仏か神か死ぬる命を助けさす」と当時の人にうたいはやされる程、誠に良いお医者さんであり、又人々から信頼されていられたかが分る。或お年寄の方に玄門さんの事を尋ねたら、其の方が私の子供の時、私の父母からこんな事を聞きましたと申されるには「おなかが痛くなった時は、玄門さん玄門さんと言っておなかをなでさすると痛みがなおる」という事であった。

文化十一年に、津奈木に疫病がはやった事があり、其の時玄門さんは夜も昼も薬ばこを下げてかけまわり、一人者で看病する者が居ない病人には玄門さんのおうちの人に薬を煎じて、それを病人にのませて之をなはされたその事が、お上にきこえ殿様から白銀を御褒美として下さった事があった。

又、其の頃天草の風習として流行病患者を舟にのせてよその村へ移していた。其のため治療の時機を失って早死する者が多かった。

丁度、文政元年にも其の舟が津奈木にも来、海の上に何日も漂泊していた。玄門さんは其の事を里の人に相談し、其の病人を看病治療してやられたのが百人余りにも及び、皆命が助った。其の時にもお上から白銀の御褒美があった。

いつも病気が危篤だと知らせて来ると、どんな寒い時でも又どんな暑い日でも、雨の日風の日も少しもきらう事なく、又どんな道の悪い遠い所にも喜んで往診していられた。若し病人の中に貧乏な人があれば、着物をやったり食物を与えたりして、其の病を治療してやり時には、自分も困る様な事があっても少しも心にかけなかったという事である。それで物に響応ずる様に、其の治療を受ける者が多く南は薩摩をこえ又球磨に入り天草の海を渡って治療を加えていられた。

郡医になって郡官舎に居られる時お上に請願して申されるに「医者の道は事人の命にかゝわる重大な仕事である。医を講じ研究せねばなかゝ明にならず、又一心に勤めなければ達する事が出来ない。芦北の医風が振わないので道を講じて大いに之を振起する必要がある」とお上はその請願を許されたので、毎月郡内のお医者さん方の大会を郡官舎に開いて、道を講じて大会を郡官舎に開いて、道を講じて研究され其の名誉日々高くなった。

後熊本に出て細川公の侍医となり殿様に従って江戸にも九回も上られ、其の宿には玄門さんの診察を受け度いと門前市をなす程であったと、又木曾路を通られる時、毎日何百人の診断をされてねむる事が出来なかったとの事である。

鮫薫裳という方が「人を驚かす事は易いが、人を治する事は実に仁恵の大なるものである」として活人堂の書を贈られそれにちなんで其の室を活人堂とよんでいられた。

# 告知板

## 津南中学校において恒例の野球大会

去る八月十二日十三日十四日の三日間、津南中学校々庭において挙行され、先年優勝の平国チームは準決勝にて竹中チームに敗れる等常に盛あがった大会であった。

成績次の通り

優勝　赤崎　二位　竹中

## 競舟大会

好天気に恵まれた、八月十三日十四日、午后一時半より大泊港、赤崎港において競舟大会が催された。成績次の通り

優勝　青年　日当、中学生　日当

## 盆おどり

平国（十三日）を初めとして古中尾、倉谷、上下門（十四日）等にて盛大に盆おどりが挙行された

## 西瓜わり大会

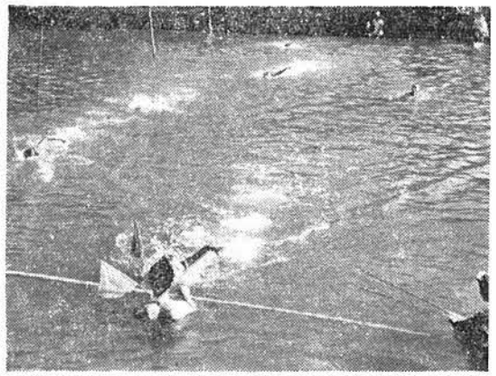
赤崎校区婦人会では十四日夜、日当波止内埋立地にて、盆おどりにかわりて今年は西瓜わり大会を行ったが、涼を求める観衆は約三百名位。

タオルで目隠して三回りさせるか方向を見失って、反対の方に行く者、観衆の中にとびこみ人の頭をわらんとする者、元気が有りすぎ地球をたたき手がしびれる者、あまり進みすぎて、西瓜ならぬ我が脚をわる人等々、右往左往、テンヤワンヤの大騒いであった。

## みんな泳げるように

日頃から、小中学生の念願でありました水泳大会を、浜父親学級の主催でお盆行事の一つとして、八月十六日真夏の太陽を浴びながら午前九時から古川の川下で五年男子五十米自由型で幕をあけ、各学年毎に男女各々日頃の持前で力泳し、余興としてカヌーの卵をとり「タライ」漕ぎ競技で、見物の人垣をわかせました。

一方低学年は西瓜割ではしゃぎたくさんの賞品をもらって一日を楽しく過しました。



水泳大会

## 寄附

故福村シヅメ様の香典返しとして次の通り御寄附下さいました。

金壱万円也　津奈木村公民館
金壱万円也　平国婦人会
金五千円也　福浦婦人会

## 訃報

部落　死亡者　世帯主

# 投稿欄

## 青研修会に思う

八月二十五、二十六日の二日間、赤崎小学校で開かれた、郡青研修に参加出来なかった事を残念に思う。

年に一度、郡内各町村から、若い人が集まって日頃の団活動の悩みや、日常生活の中から色んな問題を、見い出して、お互いに研究討議し合う事は、意義深い事だと思う。

しかしながら、未だに、青研修会に参加しようとしない。特に女子団員の不参加者の多いのには、驚いた。

上下　六車チヨメ　幹雄
大泊　鬼塚栄太　鶴松
古中　福本ハツヨ　進
中尾　桐木峯芳　フクエ
中尾　桑原サモ　喬
浜崎　宮田マツ　隆
上下　門崎タケ　辰喜
日添　林田義輝　タマ
平下　長浜　皓
浜崎　津々木長作　延子
平上　福村シヅメ　安則
大泊　真野　実　シズエ
中尾　溝口ムメ　俊郎
町中　元村絹子　和喜

参加しない理由が別に有るならばともかく、その大半はつまらぬ見栄からだと思う。

青年団には見栄やハッタリは通用しない。

我々は農村青年として、素朴な中にも常に、真実だけは、見失わないで、前進したいと思っている。

# 放談

## 四等腹と言うこと

日本で有数な建物であると言う、八代の厚生会館で九大の都留教授のお話しを聞いたんですが、一寸丈書いてみますのでまあ読んでみて下さい。日本のテレビ普及率はイギリスや西ドイツと全じだそうですね、いわゆる一等国なみと言う訳です。所が栄養水準はどうかと言えば、西欧諸国は三三〇〇カロリー以上、日本は二二〇〇カロリー、西欧諸国は日本の約一、五倍から二倍と言うことです。では二二〇〇カロリークラスは何処かと言えば今アジア競技大会が開かれている、インドネシアやタイです。いわゆる四等国、戦争であちらさんに勝を譲った日本ですから止むを得ないとは言えお腹丈が四等国に取り残されて悲鳴をあげている事でしょう。特に都留教授の話では（断っておかないとあとがこわいから）日本婦人は貞操観念が強固と世界各国からおほめの言葉を戴いているが実は此の二二〇〇カロリーが問題で欲求不足のしからしめる所だとの事、恐れいった次第、がとにもかくにも頭は一等国並み、お腹は四等国並み、脚部はそう諸外国に劣らないから二等国並みにしてみれば頭が大きくお腹はグット小さく足はまあ普通で、丁度月世界から来た様な人が出来あがるんですが、此の姿が日本人だったと考えてみるとオドロキですね。

現在の西ヨーロッパの水準並みに十年後の日本が福祉国家として肩をならべる様に政府は努力しているんですがナニ力足りないものを感じますね。

# 頭の古さと新しさ

共産党

「若いものは共産党に興味をもつものが多い。家庭を持ってくると共産党からはなれるものはまた多い」とは、東京に行っている息子から聞いたことば。

岩盤重

## 理論に魅力

共産党の理論はりっぱにできているそうだ。若い者は、理論が好きである。だから若い者は共産党が好きとか。

## 経験がものをいう

中年にもなると、世の中が理論どおりにいかぬことが、数多の経験によってわかって、共産党の理論では暮せぬと共産党から抜け出すのだろう。

結論―頭の新旧―

頭の古さ、新しさというのは、考える内容ではなく、内容を処理する考え方によって分れるのである。例えば結婚について、経験のみで考えるか、時代に応じて合理的に考えるかによって新旧が分れるように思える。

## お父さんが近い

いつかの講演会でこんな話があったのを忘れない。お父さんが小学校の息子に、「その新聞をとってくれ」といったら、ジロッと父を見て「お父さんの方が近かじゃなかな」といったと。どこにもありそうな話です。

## いうことを聞かぬ

今ごろの子供は親のいうことを聞かぬとか、口返答ばかりするとかいわれているが、子供に理くつにあわぬことを言うから、口返答したり、反抗したりするのです。くり返しになるが子供がいうことを聞くか、聞かぬかは、親のいうことが、理くつに合っているか、いないかによってきまるのじゃないか。

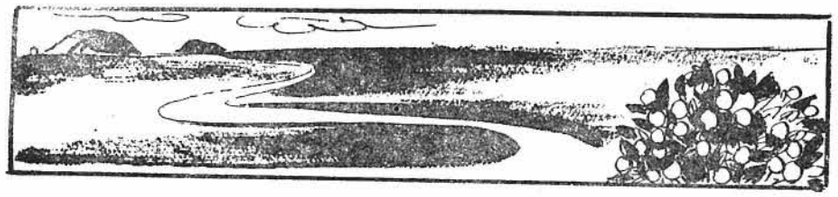
## どちらにも旗はあげられない

子供の気持もわかるが、親のいい分にも一理がある。

若い者が経験者の意見を聞きもしないのはいけないが、親が経験一辺倒で合理的な考え方をしないのもいけない。

## 結婚

合理的な考え方をしていれば、新しい頭を持ちつづけることができるといいたかった。それがわかってもらえれば幸甚。



# 熊本県における果樹振興方向とその対策

（熊本県芦北果樹指導所長　松田　明治）

# 今月の納税

## 村県民税（二一期）納期日 九月二十九日
## 村県民税（三期）納期日 十月三十日

## 館説

「上を向いて歩こオ、ウオウオ」「わかっているけどやめられねエ、ホレ、スイスイスイ」と地べたにごろり横になったり正気の沙汰とは思われない。全く近頃の子供を見ると何か空恐ろしい気がする。大人の社会で愛用されている流行語や歌がそっくり子供の世界にはいっている。

一体、私達は子供に何を教えて来たか。こんなことで教師の資格ありやと反問することさえある。之等の言葉はテレビや町から覚えて来ることで手放しで見ている以外方法はないものだろうかと、Y女先生は悩んでいられる。

確かに流行の魔力には誰しもひっかかり易い。だが流行程はかないものはない。

「ウオウオ」というなるのはやはり犬の遠吠だけだという日がまもなくやって来るに違いない。Y先生だって流行の末端位の服装はなさる事だろう。流行歌の一節に心を奪われる事だってないとは云えないでしょう。

## 子供と流行語

問題はそれよりもこうした事にこだわるY先生の精神構造にあるのではないか。

家屋構造は団地に見るアパート形式に迄変遷している。Y先生には厳粛な聖職としてあがめられ、がんじがらめに規制され戒律的な教師倫理の意識が流行と軋轢を起しているのではなかろうか。

然し本村には斯かる子供の傾向が余り見えていないことを喜びたい。（とく名）

## 部落会のこと

今年、部落会を開かれた部落話し合いの内容については、その度毎に録音を有線放送でお知らせしましたので、お聞きの方には重なりますけれども、多数のお聞きもらしの方々のために筆をとりました。

### 川内

ここでは主として農休日と衛生のことが話し合われた。

衛生といえば、蚊、蝿のボウフツがあいことばのようになっているが、ここでも婦人会が責任のもとに、中学生が一週一回消毒するように念をおしてきまった。又井戸の水質検査も役場を通して保健所にお願いしようと、ちょっと変った決議もされた。

農休日をおく、おかめの問題では相当の議論がかわされた。反対のいいぶんは「貧乏しているのでそんなに遊んではいられない。」というのである。賛成者のいいぶんは貧乏していればこそ、勉強せねばならない。農休日には講師を招いて頭の切りかえを計らうではないか、と引かない。結局、農休日をおくことには、男の方も、主婦の方も賛成してきまった。

### 福浦

婦人会の結婚式についての希望があったので大体を説明したり二回も結婚式に出られた人が、結婚式はこれにかぎると、うら打ちして下さったので、多少は飲み込まれたようだった。

花輪のことが問題になった。近親の人なら仕方もないが、一人一人が花輪を贈るのは止めた方がよいときまる。

福浦は冠婚葬祭が議題であった。

### 内野

田植のサナボリの話合が中心であった。これまでも田植は四五軒も一団として共同でやってきたがサナボリがマチマチであったのを最後に、共同炊事でやろう。一そのこと稲刈から始めようときまる。

除草剤シーピーシー（CPC）は効果が大きいから、みなさんも御使用になりませんかと、経験談をすると、来年からは、みな使用のように見うけた。

### 上下門

家庭の民主化が話の中心題であった。嫁と姑が仲よくするにはどうしたらよいかが討議された。

「孫を可愛がる」「嫁に財布をゆずればよい」など名論続出。

親と息子の思想の行き違いも問題になった。親の不勉強もあるが息子の行き過ぎもたしかであると両方の歩みよりが必要であると結ばれた。

## 講演会

七月廿八日、熊本商大教授丸山学先生の講演会があった。

このごろ目に見えて、青少年が犯罪をおかすようになった。その特徴として

1、年令が下がった。浅沼さんを殺したのは十七才

2、集団的となった。

3、ひどい悪いことをするようになった。（凶悪化）

東京から、いなかの中学校に転校してきた生徒が外の子を使って集団で筈の皮を、倉庫からぬすんで売るなどのことをした子の両親は**夫婦ゲンカ**ばかりしていたという。

青少年の悪いことは、学校や家庭外の社会で行われる。それで社会を清潔にしなければならない。

**子供会**を組織して子供をその中に入れておくのがよい。

大体そんな話があった。この話を聞いた人々は、口をそろえて本村にも子供会がほしいといい、それには水俣市の子供会を視察してみようというところまできている。

## 新国道開通近し

昭和三十五年四月に着工、湯浦側、二、二キロ、津奈木側二、九キロにトンネル五一五米、旧道を自動車で三〇分要したものを、新道では七分、いかに便利かがわかるこの費用二十二億円延二十万人。

津奈木太郎新国道

故**白浜巌氏**の香典がえしとして津南中学校体育館へ、電気時計一個を寄贈。

公民館へ、前村長**斎藤藤吾氏**遺族より十七吋テレビ一台寄贈。

**門崎敬一君**　熊本県主催で青年、国内研修旅行がおこなわれるのに、声北郡を代表して門崎敬一君が参加する。将来、農業経営の中堅者を養うためのもので、九月十五日より十月十一日まで、約一ケ月間、熊本で、富士山麓の御殿場で、茨城県の農場で、訓練や実習やらをすることになっている。

**寄附**　斎藤ヤメ氏　斎藤吉之助氏

**一金百五十万円也**

小学校給食室建築費として寄附

## 平国小学校 給水工事落成

当局では兼て平国小学校の水不足を憂慮していたが、このほど理解ある、長浜善吉氏の協力により氏の所有する水源より給水施設を完了した。主なる工事内容次の通り。

設計費　四一七、〇〇〇円
出来高請算費　二八五、〇〇〇円
（直営工事）

## 市外通話料金の改正について

日本電信電話公社では、市外通話を全国どこへでも、ダイヤルするだけですぐお話の出来る電話にするため計画を進めておりますが、この理想を実現するため九月三十日から新しい電話料金制度を実施することになりました。

**○最初の三分をこえると、あとは一分刻みになります**

これまでは、一通話三分単位で料金を計算していましたので、四分で終っても二通話、六分ぶんの料金をいただいておりました。

しかし、改正後は最初の三分をこえますと、あとは通話された時間を一分単位の小きざみに計算し、料金をいただくことになります。

このように、改正の目的は料金の不合理をあらため新しい時代にふさわしい電話にするためで、決して値上げを目的とするものではありません。

水俣電報電話局
津奈木郵便局



## 故福村しずめさんを想う

福村静女さんとは、十一年間、婦人会の同じ立場でお互にはげまし合いなぐさめ合って、思い出も一入次から次へと浮び、目頭が熱くなります。

静女さんは、仏様に信仰の厚い方でした。旅館でも一緒に休ませて頂きます時、必ずおふとんの上で手を合せて心から念じて居られました。

歌もお好きで作詞し、特に炭坑節はお得意でした。

田浦で会合の時駅に立派な菊花展がありました。その花を観賞しながらさっそく作詞炭坑節を一節『きれいに咲いたる菊の花ヨイヨイ花の心で暮したら、家も明るく世も平和サノヨイヨイ』「ソウよかとんでけましたがなあ」斉藤先生」と云われました。そして人様を大切にし御恩を忘れぬ方でした。

田浦の平橋病院にお若い頃看護婦さんでいらした時、可愛がって下さったとか、田浦で会合があれば必ず一寸立寄って居らっしゃいました。

一昨年の夏のこと、やはり田浦行きの時津奈木駅前でキユウリを買って平橋病院へ持って行かれました。私は、田浦には良いキユウリが安くしてありますよ、然しねとなりのにが菜ってね、福村さんのお心づくしだから話し乍ら行きました。

処が案の上きれいなのが一ぱい売り歩いていました。

「アラソーウ斉藤先生あたん云なはったごつ、しまいました。おぶか目おって津奈木から買うちきて」と云われましたので、「そるばってん津奈木のみやげは津奈木からの方が心がこもっていいですよ」と申上ましたら「そげんですな」と云って行かれました。

病院で大変喜んで下さってお土産まで頂いたと云って帰りの汽車の中で赤崎の宮島さんと三人で子供見たいに開けて見ようやと云い出して開けて見たら高価な桐下駄でした。

三人共マーアと同じに顔を見合せ、私も。私も。と宮島さんと同時にキユウリを持って行けばよかったねーとじょう談を云乍らしづめさんのお顔を見ましたらウフフと笑われた笑顔のふくよかさは今だに目の中に残って居るようです。

天使のような方。又いつでも何処ででも居ねむりの出来られる幸なお人でした。

忘れ物もよくなさる点は私と同じでした。海浦で研修会の時、ハンドバックを駅に置忘れて、又後戻り。

副会長のキミエさんが「うちの会長は手さげんあっどんせんば、」

戔な一戔五厘も、もたつさっんと

ぢゃが」と、津奈木の駅で心配された事も思い出の一つです。

熊本に国体に行った時、静女さんと二人で赤ゲットをひろげて帰りました事は静女さんと私と二人丈の思い出です。

共に泣き共に笑い思い出をいつまでもいつまでも私の生のあるかぎりその思い出と共に霊安かれと御めい福を祈ります。

## 老人について

「病は気から」ということが、ほんとうであれば、「自ら老いとむ」ということもほんとうである。年はとっても若い気で、夢もあり、うたもあり、希望もあれば、老い込まぬはずである。

日本の平均寿命（へいきんじゅみょう）は、男六六才女七一才であると、最近の新聞紙は知らせている。四十年後には、平均寿命は男八十才女、八十二才になるそうである。六十才になったら「孫の守でも」とか、「いんきよ」とかのんきなことをいっている時代ではないと思う。何十年か先は六十五才以上が十人中二人いる計算になるといえば、年寄だといって遊んでいるわけにはいかない。

どうか自ら老い込まないで、夢をもち、希望をもって日々をおくって下さることが望ましい。

できれば時々お年寄だけ集って歌のけいこや、踊りのけいこをされることも大へんよいと思う。

以上はお年寄に対する希望であるが、次には若い人たちに申し上げたい。

老人は家のため郷土のため、心身をすりへらして弱られたかたである。その老人に対する若いものの気持は、適切だろうか。

ある八十才になる人が、汽車にのって座席がなくて立っていられたが、一人として席をゆずってくれる人がなかったとのことである。

**あやまれる自由主義**のあらわれとして、まことに残念なことである。レディファストというが老人第一こそ大切ではあるまいか。

## 国鉄ダイヤ改正

次の様に発車時刻が変ります

列車時刻表（三七、一〇、一改正）

**上り**

| 列車名 | 発車時刻 | 行先 |
|---|---|---|
| 津奈木駅発時刻（急行）水俣駅発時刻 | | |
| 普通列車 | 〇時一二分 | 門司港 |
| 桜島 | 五時五九分 | 鳥栖 |
| 出水（急） | 六時三四分 | 熊本 |
| 川内 | 八時〇五分 | 鳥栖 |
| 鹿児島 | 一〇時一六分 | 鳥栖 |
| 出水（急） | 一二時〇三分 | 大牟田 |
| 鹿児島 | 三時〇二分 | 門司港 |
| 水俣（急） | 六時一四分 | 鳥栖 |
| 鹿児島 | 七時四五分 | 鳥栖 |
| 出水 | 二〇時二〇分 | 玉名 |
| 津奈木駅発時刻 | | |
| 鹿児島 | 七時四二分 | 鹿児島 |
| 出水 | 九時三八分 | 鹿児島 |
| 鹿児島 | 一一時一七分 | 水俣 |
| 鹿児島 | 一四時四〇分 | 鹿児島 |
| 出水 | 一六時一四分 | 鹿児島 |
| 鹿児島 | 一七時五三分 | 出水 |
| 出水 | 一八時四五分 | 鹿児島 |
| 鹿児島 | 二一時五七分 | 出水 |

**下り**

| 列車名 | 発車時刻 | 行先 |
|---|---|---|
| 熊本 | 二二時四二分 | 出水 |
| 熊本 | 一一時一七分 | 鹿児島 |
| 熊本 | 一二時一二分 | 山川 |
| 熊本 | 一五時二二分 | 西鹿児島 |
| 熊本 | 一八時三四分 | 西鹿児島 |
| 熊本 | 二一時三二分 | 西鹿児島 |

**上り**

| 列車名 | 発車時刻 | 行先 |
|---|---|---|
| （急行）水俣駅発時刻 | | |
| 桜島 | 一〇時〇六分 | 西鹿児島 |
| （不定期） | | |
| きりしま | 一一時〇二分 | 鹿児島 |
| かいもん | 一二時一二分 | 山川 |
| はやぶさ | 一五時二二分 | 西鹿児島 |
| かいもん | 一八時三四分 | 西鹿児島 |
| フェニックス | 一九時三二分 | 西鹿児島 |
| 普通列車 | 三時二二分 | 鹿児島 |
| 五時〇〇分 | 鹿児島 | |
| 桜島 | 九時〇七分 | 博多 |
| かいもん | 九時〇七分 | 博多 |
| フェニックス | 一〇時四三分 | 宮崎 |
| はやぶさ | 一三時三七分 | 東京 |
| 一七時五五分 | 東京 | |
| （不定期） | | |
| きりしま | 一八時三四分 | 東京 |
| かいもん | 一九時四六分 | 博多 |

**下り**

| 列車名 | 発車時刻 | 行先 |
|---|---|---|
| （急行）水俣駅発時刻 | | |
| 普通列車 | 一〇時〇六分 | 西鹿児島 |
| （不定期） | | |
| きりしま | 一一時〇二分 | 鹿児島 |
| かいもん | 一二時一二分 | 山川 |
| はやぶさ | 一五時二二分 | 西鹿児島 |
| かいもん | 一八時三四分 | 西鹿児島 |
| フェニックス | 一九時三二分 | 西鹿児島 |

## 農業暦

これからの農業＝これからの生活
農業構造改善事業＝これからの生活
構造改善事業　生活の計画化
営農　消費
農業の近代化
農業の基本法
1 2 3 4
生税生貯
産金活蓄
選択的拡大
構造改善
流通価格

私共がこの世に生を享け生存をして行く上には生活と言うものがあるわけですが、一日一日の生活を時間面に消費面に無駄なく過しているでしょうか。

私共が日常生活を無駄なく過す。生活を有意義に過して行くには科学化つまり生活の中に科学を取り入れた生活がもっとも大事ではないでしょうか。

私共は習慣の中に何十年となく生活を送っておりました。今迄色々な習慣の中で生活を過して来たのですが、それで良いのでしょうか。

農業は今、まがり角に来ている、と言う言葉を耳にします。時代は日日進んでいます、私共は時代の流れを良く考察して取り残されない様にしなければなりません。

私共主婦は現在進められつつある農業構造改善事業にともなって生活の計画化を考えなければいけないと思います。

生活設計（目標）に対しての投資の比率は、生産3、生活5貯蓄1、の割合になって生活設計を立てなければなりません。

私共の生活に制限された「**時間＝金＝労力**」をどうやってやりくるか生活設計を乗りきるためには私共主婦は**計画**をたて計画にもとずいて**記録**をなしそれを**集計**し反省しなければなりません。

これが家計簿となって我が家の生活の設計を建てることになるわけです。忙しい主婦にとって家計簿をつける事は容易な事ではないと思いますけれど理想像をえがいて明るい豊かな我が家の建設に努力をしていただきたいと思います。

水俣地区生活改良普及員
青木ノブ